

都内訪日客、倍増2500万人に

都20年目標 消費額2.7兆円めざす

東京都は都内を訪れる外国人旅行者数を、五輪のある2020年に15年の約2倍の年2500万人に増やす目標を決めた。外国人消費額は2.4倍の2兆7000億円を目指す。21日に公表する「観光産業振興実行プラン」の中間まとめに盛り込む。

16日に都庁内で開いた「東京の観光振興を考える有識者会議」（座長、本保芳明・首都大学東京特任教授）で数値目標案を示した。2500万人のうち6割の1500万

人は、東京を訪れる回数が2回以上のリピーターにしたい考えだ。日本に住む外国人と日本人が、都内の名所を訪れたりイベントに参加したりする「訪都国内旅行者」は15

年比16%増の6億人、消費額は約1兆円増の6兆円を目指す。

目標達成に向けた施策としては、観光関連の経営・サービス人材の育成、観光アプリの開発を挙げた。

た。多摩地域での観光情報センター設置や、障害者や高齢者の旅行環境を改善するために、19年度に130の宿泊施設と50台の観光バスのバリアフリー化も目指す。

会議に出席した小池百合子知事は「かなり野心的な数字になる。それだけ東京には磁力があると考える」と強調した。